## ご案内 第18回ゆずり合い 助け合い 学び合う会

主催:一般財団法人わびあいの里

運営:学習会実行委員会

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年もわびあいの里学習会の季節がやってまいりました。今回で18回を数える学習会となりますが、ご参加いただく皆様にとって、より充実した学び合いの機会となれますよう 準備を進めているところです。

さて、昨年は全国的に台風などの自然災害が日本全国で猛威を振るい多くの方が被災されました。今でも不自由な生活を強いられている状況を見聞きするにつけ支援の必要性を痛感するとともに温暖化対策等の環境問題への対応が急務であると感じております。

一方、沖縄県では首里城正殿等の火災という大変ショッキングな出来事があり 多くの県民が失って初めて知る喪失感を抱いたところですが、県外・国外からも 続々と再建に向けた支援の動きが有り、本当に多くの方にとっても大切なもので あったのだと改めて実感しているところです。

沖縄では日米安保の名の下で基地の建設・強化が進められており、今まさに貴重な自然が失われようとしています。当然自然破壊だけの問題ではありませんが失って初めて分かったというのではあまりに情けなく悔しいことだと思います。本学習会の意図する、奪い合うのではなくゆずり合い、傷つけあうのではなく

本字質芸の息図する、舞い合うのではなくゆすり合い、傷つりありのではなく助け合い、無関心ではなく学び合いの精神が今求められています。

首里城の再建に向けて県内のみならず国内外の方が関心を持ち、多くの無償の 支援が 寄せられているように基地問題にも多くの方が関心を寄せれば状況は 変えられると 考えています。

今回の学習会では沖縄が戦争に巻き込まれていく経緯を含め、沖縄、特に北部・伊江島 での戦争とその後の伊江島の状況等について学ぶとともに、阿波根昌鴻氏の生き方、考え方などについて改めて触れられるような機会となれるよう進めて参りたいと考えています。

どうぞ多くの皆様が趣旨をご理解いただき本学習会にご参加くださいますよう ご案内 申し上げます。

2020年 1月 学習会実行委員長 謝花 悦子